

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度		2024年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科				
科目名称	栄養教育総論					授業形態	講義			
科目コード	304800	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	渡邊 純子							ICT活 用	○	
授業概要	<p>「食」を通して人々の生命や成長・生活の質（QOL）向上・健康の維持増進を支援する専門職である管理栄養士としての必要な知識・技術の基本を学ぶ。【態度・志向性の育成】 特に総論では栄養教育の目的に加え、人の行動の特性について全人的側面から捉えることの重要性を学ぶことになっている。人々の望ましい行動変容を支援するための、行動科学の理論と代表的な技法、栄養カウンセリングにおける初回面接やコミュニケーションの重要性や方法などについて、事例とともに学ぶ。 授業期間中において学ぶことはできても、身につけることができない資質・能力については、3年次以降の関連する授業科目や諸活動等を通して学ぶ。【生涯学習力の育成】</p>									
関連する科目	専門基礎分野の科目を事前に、履修後は、栄養教育各論Ⅰ・Ⅱを履修することが望ましい。									
授業の進め方 と方法	<p>授業内容の復習と確認のために、毎回「確認テスト」を実施する。 授業は主に講義方式で行うが、課題を与えてディスカッションをしたり、2人一組でロールプレイをするなど、アクティブラーニング型の授業を展開する。また理解を深めるため、スライドのほか、DVD教材等を活用で学びを深めるとともに、「確認テスト」を通して課題に対する自らの考えをレポートで表現する。【汎用的技能の育成】</p>									
授業計画 【第1回】	「栄養教育・指導の概念（定義、目的、目標）」									
授業計画 【第2回】	「栄養教育と健康教育・ヘルスプロモーション」									
授業計画 【第3回】	<p>「栄養教育の対象と機会（ライフステージ・ライフスタイルからみた対象）」 栄養教育の対象者の特徴と栄養教育が行われる場や機会がどのようなものか学ぶ。</p>									
授業計画 【第4回】	<p>「栄養教育の対象と機会（健康状態からみた対象、個人・組織・地域社会別にみた対象）」 栄養教育の対象者の特徴と栄養教育が行われる場や機会がどのようなものか学ぶ。</p>									
授業計画 【第5回】	<p>「栄養教育の場と法的根拠」 管理栄養士による栄養教育は法律に基づいて行われることを理解する。</p>									
授業計画 【第6回】	「栄養教育と行動科学（行動科学の定義と目的）」									
授業計画 【第7回】	「行動科学の理論とモデル（個人レベルの理論とモデル）」									
授業計画 【第8回】	「行動科学の理論とモデル（集団レベルの理論とモデル）」									
授業計画 【第9回】	<p>「行動科学の理論とモデル（社会レベルの理論とモデル）」 人の行動変容を支援するための行動科学の理論について理解を深める。</p>									
授業計画 【第10回】	「健康増進や生活習慣病のコントロールに共通した行動技法の概念」									

授業計画 【第11回】	「健康増進や生活習慣病のコントロールに共通した行動技法の活用」
授業計画 【第12回】	「行動療法に基づく面接、栄養カウンセリング」 対象者の準備性を見極め、適切な支援を行なうために重要な初回面接・カウンセリングを理解する。
授業計画 【第13回】	「組織作り促進のための方法」
授業計画 【第14回】	「地域づくりへの展開の方法」
授業計画 【第15回】	「食行動変容と心理」
授業の到達目標	1 栄養教育は健康の保持・増進・生活の質・人生の質の向上に寄与することが目的であり、望ましい食行動の形成と確立を目指す人間教育を行うためには人の行動を全人的に理解することが重要であることを理解する。【知識・理解の育成】 2 行動変容促進のための理論や技法、栄養カウンセリングにおける初回面接やコミュニケーションについて習得する。【汎用的技能の育成】 3 栄養教育に携わる管理栄養士としての高度な倫理観を醸成する。【態度・志向性の育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外学習【予習】	次回の授業範囲について予習する。(1時間) 新聞・テレビ・雑誌・インターネット等に掲載される情報に関心を持ち、それを5W1H「いつ(When)、どこで(Where)、だれが(Who)、なにを(What)、なぜ(Why)、どのように(How)」の6つの要素を中心にまとめて把握し、それに対する自分なりの意見を考え、文章にする練習をする。(1時間)
授業時間外学習【復習】	人の行動の特性について行動科学の学びの中から得た知識や認識を復習すること。(1時間) 新聞・テレビ・雑誌・インターネット等に掲載される情報に関心を持ち、それを5W1H「いつ(When)、どこで(Where)、だれが(Who)、なにを(What)、なぜ(Why)、どのように(How)」の6つの要素を中心にまとめて把握し、それに対する自分なりの意見を考え、文章にする練習をする。(1時間)
課題に対する フィードバック	確認テスト、レポート、最終試験は評価後、返却及び解説をする。
評価方法・基準	以上の結果を総合して評価する。 1) 第2回授業以降の毎回の確認テスト30点 2) 授業への取り組み状況(授業態度、理由のない遅刻・早退含む)20点 3) 定期試験50点
テキスト	『管理栄養士講座 栄養教育論 第3版』中村丁次・外山健二・笠原賀子 編著 健帛社(4180円)
参考書	『改訂マスター栄養教育論』逸見幾代・佐藤香苗 編著 健帛社 健康・栄養科学シリーズ『栄養教育論』丸山千寿子・足達淑子・武見ゆかり 編集 南江堂 『行動変容のための面接レッスン 行動カウンセリングの実践』足達淑子著 医歯薬出版 『ライフスタイル療法! 第4版 生活習慣改善のための行動療法』足達淑子著 医歯薬出版
備考	管理栄養士として行政・病院・学校等で勤務した経験に基づき、実践的栄養教育に必要な知識や技術について講義を行う。各対象者における健康栄養上の課題や課題解決のための栄養教育について、理論に加え、豊富な実例を交えた授業を行う。